

上海會審衙門制度

(承前)

西田 畊一

第十節 會審官と辨護士

一、會審官會審衙門組織に關し第一節に既述せる如く支那及各國會審衙門に於ては、支那語又は佛語に通ぜざる辯護士は出廷辯論を許可せざるにつき其數多からず

副會審官は英語に通せざるも亦多年の經驗乃至は審理に關し相當の智識を有し「二各國會審官も二箇國會審官を支那語に通せし例へば支那國に二名乃至數名の辯護士あり會審官に通するも漢文に通ざるより支那人の門のみならず隨時各國領事館法廷に當該國語に通する通譯を伴ひて出廷するを例とす」(二六)

廷する例外除く何れも相當の智識あり支那語漢文並に英語に通せる各國總領事館々員中より任命せられつゝあり従つて會審衙門制度の存在する限り日本會審官たるものは要件として支那語漢文に精通し英語を解するを説明するこの既述の如し抑も會審衙門の裁判あるものは曩きに一言せし如く混合裁判の名に背かず言ふに如く裁判の一名に背かず

少くとも語に於て陳述する外國
辯士之辨論を聽取して之に對應
法廷に於て直に記録し止むべき英文
判決を與ふるの實力を有し且つ日本
及支那の法律を解したる上支那に於
ける習慣其他の國情に通せる確實な
人物ならざるべからず

然るに台同裁判例に何等一定の法制度
を所謂「大綱裁判」に依りて其制度
を論ずるに參考とすべき一定の法
規、規則頗る少なきが故に審理の
手續、判決の辦法、判決執行の方
法等各事件の性質により一定せざ
るものありて吾人の苦心且取捨に

二、會審衙門辨護士たらざるもの
は外國人辨護士は當該國總領事又は
領事の許可證明を要し支那辨護士は
支那官憲の許可證明を得たる上首席
領事の簽印を得て何れも會審衙門に
出願登録し始めて出廷することを得

惑ふことありて必ずしも誤謬な
きを保し難く若夫臨時の變更は
一々之を記入するに便ならず記事
の精粗亦一律ならざるは現下の狀
勢誠に已むを得ざる所にして之を
他日に俟つの外なく其他事件數統

而して辨議士に相當なる法律智識を有し英語及支那語に通ずるの要あるも外國辨議士にして支那語を解するもの頗る少數なる爲め普通英語を解し經費等種々説明を要する事項あり將又本題に關聯し在滬邦人の尤も注意を要する判決例の説明乃至は商事契約其他各種行爲に關し會

審衙門に起訴の際、豫め注意を要すべし。諸點を列記して、聊か説明を加へんと欲したるに、亦かり長文に亘るの恐あるにつき、此等は他日の好機に譲ることし、茲には單に上海會審衙門制度に關する説明の概要に止めたり。讀者諒之焉。

●支那一流の共和

▲易姓革命と
▲易總統革命

頃日の漢字新聞によりて現政政治官員劉邦驥なるものゝ「祀天祝礼に用貝少服制即ち袞冕に關する意見書」を見て支那の共和に關し少からず感_二を深ふしたれば先づ左に之が一節_一を譯載し後に論評を試むべし即ち劉_一名稱異あると雖も其職權は相若_二なり假りに若し帝字を以て嫌とあざ_一ば周の文武成康は帝と稱せざりて王_一と稱せし之を公認して帝とせざらざる_一を深ふしたれば先づ左に之が一節を譯載し後に論評を試むべし即ち劉

嗚は曰く
 袞冕あるものは乃ち二千年前の共
 大總統の服制にして世襲皇帝の服
 にあらず云ひ換ゆれば二千年來の
 襲皇帝が共和大總統の服制を借用
 したるまでにして歴代世襲皇帝自
 識者は其不可を知らん況んや此袞冕
 を創めしものは實に二千年前の共和
 大總統に由て二千年來世襲皇帝の
 借用する所となりたるに於てを今
 日は帝制を脱離し共和反本復故の時
 に際す博く大に古籍を考ふべし我國

定めた服制は惟前清の實石服、
 自定の服制は惟前清の實石服、
 朝珠、蟒袍、圍裙褂のみ、故に
 日國粹保存を云はざれば己む、否
 ざれば先代の遺制を、否とすべし
 を云はざれば己む、否とすべし其
 の遺制を遵從すべし、試みに問へ

は復古の共和國なれば、近世共和國の
 通例に鑒み之を以て朝服とせざるも
 天に衣服とす、は時世の變遷に應じ
 單人の安願に協ふなり、何の不可か
 ある云々

如上譯し來れば結局袁總統に阿ね

代共和制度經傳に見るもの、一種自家防衛の言と見るの外なし、
而かも今日の所謂共和の眞意義を説く爲め斯くも唐虞三代に溯り支那は復古の共和國なりと號召するに至りては其忠眞に及ぶべからずと評するべしと思ふに必ず確かに根據あるべし然れども我等は此意見書を

禹は世襲皇帝の鼻祖たりと雖も禹
生前實に世襲皇帝の觀念なし苟く
朝綱謳歌の歸する所にあらざんば
必ずしも益の禪代する所となら
ざるを看取し得たれば更に進ん
で此支那流共和の今後如何に影響

るかに就き一言なきを得ざるなり
折角移植せられたる歐洲流の眞共
和が支那流に化し去らるゝと云ふこ
とは支那數千年來養はれたる支那民
族の習識に左右せらるゝ結果之を果
實にする力なきが爲めに外あらざる
なり、此習識あるが爲め今日の支那

一流の共和は生れたる而して支那
一流の共和を生みたるものは今の袁
總統其人なり即ち袁總統は能く支那
民族の性質を知委し能く之を操縦し
得べき枝倆あるが爲め共和を支那流
に化し得たるなり迢つて支那今日の

共和は率直に云へば共和式共和にあらずして袁式共和と稱するの寧ろ適切な如かざるなり既に支那共和を支那流即ち袁式共和と稱し共和式共和にあらずと見る以上我等は其權

威なきを思ふと同時に勢ひ衰微絶死したる場合に於ける其和の結果を考へざるべからざる事となるなり

支那は由來易姓革命に困じたる國柄なるを以て已に遠き昔に於て孔子は國家の統一即ち周祀を無窮ならし

めんが爲め三代を説き盛んに人道を唱へたり而かも孔子の此努力と苦心は遂に支那民族の習慣に打勝つを得ずして周朝は倒れたり而して以降の易姓革命は依然として繰返された

り、我等は此易姓革命の苦き経験に

嗟み支那が今後若し袁氏共和其儘を以て進行せば此易姓革命と同一の意味に於て易統革命を惹起し遂に際限なきに至らんかを恐れざるを得ざるなり然り而して我等は支那は此際可成り一國圖策を講ずるにあらず

ば到底國家を存立し得ざるに至らん
かを危まざるを得ざるあり敢て支那
人士の猛省と熟考を促がす

日清汽

上海出帆（漢口）

每週月
夜半浦東棧橋ヨリ發

每週土
夜半郵船棧橋ヨリ發

輸出宿直 四七五

朱 船

電話 輸入 船客
 三三 一二 三九
 二五 五六

上海支店

黃浦灘路第五號

浦東棧橋四七四

電話 一八七四
 內監 一〇八七
 河督
 漢口宜昌線 一ヶ月六回
 漢口湘潭線 一週二回
 漢口常德線 一週一回

九江南昌線 一月三回

○本店 東京市銀座通二丁目七番地

○大倉益昌碼頭(浦東事務所)
(電話三〇七九)

上海九江路第拾七號
第拾八號

株式會社 大倉組 上海支店

電話
輸出 石炭 八〇六
輸入 會計 二八八
支店 長室 三〇一
支店及出張所 大阪、横濱、横須賀、神戸、吳門司、佐世保、舞

鶴沼津、京城、臺北、臺中、打狗、天津、漢口、上海、大連、北京、倫敦、紐育、漢堡、濠州

討伐軍と白狼

白狼の將來如何

鹽泉、涇陽、三原の渭水北の三縣を蹂躪し省城西安に肉迫の勢を示し...

然れども政府の討伐軍は其後各方面より陝西に向つて集中せられつゝあるを以て白狼は陝西に在りて暴成を遂げ得るやと疑ふを得ず...

於てか白狼の討平策は遺漏なしと云ふを得べし、彼の政府者流が今同くは必ず白狼を破獲すべしと云へる蓋し尤なる事なり、

政府が斯くの如き厳密にして大袈裟なる討伐計畫に臨むる時白狼は堂々數百字より成る一佈告文を發し現政府に反抗する所以を明かにしたり...

て俄かに白狼が政治的及び軍事的に大勢力を形成したりとか或は舊國民黨と完全なる聯絡を有せりと爲す...

大隈内閣の成立に對する南方人士の感情の一端を知らんが爲め我等は前號に於て政府の御用紙大共和日報の評論の一部を摘錄した、

袁氏の大隈内閣觀

願くは眞の聲なり

袁氏の此の語頗くば之をして氏の肺病より出でし眞の聲たらしめんと欲し、此の心をして永久に變へる事なからしめよと云ふは此氏の大事業を成しむるは固より支那の統一と人民の幸福を得べき上策にして實に...

生計革命

我等は革命關係者招撫策の暫時停止せられたるに就き今所謂革命關係者は大抵未輩に屬し必しも政治上の目的を以て事を起すものにあらずして反りて生計困難の餘り敢て險に走るに至ると云ふ由來境遇に順應すべきは支那國民性の特色なれば今日招撫策を實行しせば此上尙ほ非爲の行動を取てするところなるべし...

古河會社 礦物分拆所 第三十九號路 北京路第三號 電話二一六九 店支海上司公菱三

本と與妙なし只は一團のみ」の言は
にして支那が由來一團して勝を得る
の國柄なるに鑒み我等は革命以來
思想混亂し道德殊に腐敗し生計の困
難頂上に達し亂機四處に伏する今

王曰 國務院は何の邊に御座るか
熊曰 集靈囿に御座います
王曰 ろれじや院中(國務院)には
度麟や鳳や龍や龜やさては飛禽

に) たら國史館で使ふだ
は屹度奉送します
王曰 愚老は國史館には毎
くばかりで燈を點す必要

の石油
に關する部分の要領を
▲海關の收入 支那
に於て通商貿易の頗る
なりし圈内に在るを以

北京	譯出する、 亦た世界各國 著るしく活潑 かれます、支那	入輸出の兩者に對し共に金融の緊縮 に在り、支那に於ける爭亂の生ぜし 以來、支那人一般の傾向は外國銀行 に預金するか、否らざれば其の所有
	同、八、五	同、八、五

ン、タイムスは其のファ

申込所 山口商店
(電話三四五九)

の金を蓄積するに在りたり、普通の年には上海の銀行に存在する銀は英金約二千萬磅位のものなり、然るに一九一二年の争亂の際右に金は其の十一月に於て約四百萬磅となり翌一九一二年二月に革命黨の成功の確かなりと見込まれし際に及び又々金二百六十二萬五千磅に減じたり、されど此の時以來又々漸次に増加し來り、一九一三年に入り殊に袁世凱政府に對する反抗運動の開始と共に著るし増加し始めたり、即ち一九一二年十一月に三百〇九萬五千磅の在り、一百萬磅を加へ、同年五月一日に於て五百〇六萬磅に増し、八月十二日に六百〇六萬磅に増し、政府に反抗せる南方の革命家の失敗ありしもなほ且つ支那の事情は彼等支那人をして其の無利息にて外國銀行に預け入れたるものを支那銀行に放置が爲め或は之を直接に流通せしむる迄に頗る遲たりしなり、漸く一九一三年の年末に入り、始めて輸出貿易の形勢改善の徴を見たるも内地よりの荷物の到着はなほ且つ遅れ勝ちなりしなり、

▲生糸 支那に於ける生糸の季節は五月より翌年四月迄を一年として計算するなり、一九一三年四月迄の十二個月間の生糸の生産高はレコードとして最多きものなりし故、其後同様に更に改善せられん事を希望され居たりしを以て、歐洲の生産高の少量なりしを以て支那に對し需用を増すのみならず、なほ且つ値段も上騰を見るならんと期待せ居たりも此等の期待は全然架空のものなりしかり、支那に於ける生産高は相應に有りたるも、之を吸収する市場は多分金融の不利なりし爲め買進ます

値段も下落したり、此の如くにして季節は好望なるべしとの期待を以て開始せられ一九一二年の値段より割高なりしなり、即ち廣東の最初三回の生産高は前年の分一萬七千俵に過ぎざりしも二萬四千俵以上もあればと云ふが如き有様なりし年末に及び生糸の輸出は失望の狀態となりたり、

支那の養蠶については今以て何等の改良を見ず、晩近の科學的方法をも用ひざる故、之に對する缺點は舊時と同様に存在し居るなり、前二年間の生産高は増加したるも日本品の競争に對し漸次其の地歩を失ひ居るなり、支那生糸の品質は不良となり支那は一方に於て米國に於ける面而ある市場を失ひたるも印度に於て漸次重要となれる市場を得たるは頗る好運なり、若し夫れ養蠶の改良を加ふる時は支那の生糸も品質を良好ならしめ得るのみならず其の生産高をも二割五分増加する事易きたるあり、世界の生糸の生産高は一九一二年乃至一九一三年の生糸季節の一年間に於て二六、七四〇、〇〇〇キロ（タツナアを含む）即ち全生産高の三割二分五厘を有する次第なり、此の割合はその前二年間の割合に比し随分よき割合には相違なしと雖も之を過去に比せんか今より三十年前に於て支那の生糸が世界の全生産の半額を占めたりし事を思へば非常の減少と云はざるべからず支那の新時代に入りし結果として此の如き國家的生産物の改良を見る事あるべし、兎も角も支那の重要生産物たる生糸及び茶が其に其の生産法の最近の科學を應用して改良せられざるを遺憾とするなり、

●鑛業條例施行細則 (二)

第二十九條 合辦鑛業呈請人脱退の時代表人脱退の日より十日以内に須く証明すべし文件を添具し鑛務監督署長に呈報すべし前項の規定若し代表人あき時は合辦呈請人より呈請すべし

第三十條 若し探鑛呈請地を訂正し或は鑛業呈請地を増減する時は須く呈文の外に理由書並に鑛區を繪かくる圖を添具し新舊呈請地の關係を表明すべし

第三十一條 鑛業呈請人若し已に第四十條の通知を受け再び鑛地を増減するの呈請あるを得ず

第三十二條 鑛業條例第四十條第二項の規定に依り鑛務監督署長抽籤を行ふ時は關係鑛業呈請人をして署に到り參觀せしむべし、鑛務監督署長は抽籤の時日を預定し半月前に於て關係鑛業呈請人に通知す、若し關係鑛業呈請人臨時に到らざれば鑛務監督署長は同署内二名以上の職員と會同して之を行ふ

第三十三條 鑛區の合併或は分割に關する呈請は須く理由書を添具し同時に新舊鑛區の關係圖を呈文に附し呈送すべし若し鑛區の分割に前項は各區は須く各一圖を製すべし、前項の呈請に於て若し鑛業條例已に抵當とあるものなれば鑛業條例第四十七條第二項の規定に依り須く債權者の承諾書或は各債權者の協定書を一併し呈送すべし

第三十四條 鑛業條例第三十五條第一項の規定に依り呈文及鑛區圖の外に須く鑛床圖及其說明書を添具し同呈文を併し呈送すべし、鑛業條例文據を併し呈送すべし、鑛業條例第五十條の規定による呈文查詢の呈文每件、銀元二十元（十四）鑛業查

の呈文圖說外須く隣接鑛業權者及其抵當權者の承諾書を一併し呈送すべし、前二項の鑛床圖は須く平面圖及剖面圖二種を繪くべし

第三十五條 鑛區の訂正に増減或は改正に關する呈請は第三十條の規定を準用す

第三十六條 鑛業條例第四十七條第二項の規定に依り區を減し或は區の増減に關する呈請は須く債權者の承諾書を添具し呈文に附し呈送すべし

第三十七條 鑛業に關する呈請は須く左記の各項に按じ呈文に附し公費を納むべし（一）探鑛に關する呈文、每一件銀元二十元（二）探鑛呈請地變更に關する呈文、増區或減區、每一件銀元十二元、減區每件銀元二元、（三）探鑛區變更に關する呈文、増區或減區、每一件銀元十二元減區每件銀元二元改正正每件銀元二元（四）探鑛呈請人變更に關する呈文、繼承により變更するもの每件銀元十元、繼承外の原因により變更するもの每件銀元三十元（五）探鑛呈請變更に關する呈文、増區或減區每件銀元二十元減區每件銀元二十元（六）探鑛呈請變更に關する呈文、増區或減區每件銀元二十元減區每件銀元二十元（七）探鑛區變更に關する呈文、増區或減區每件銀元二十元減區每件銀元二十元（八）探鑛區合併或分割に關する呈文、每件銀元二十元（九）探鑛區分合に關する呈文、每件銀元二十元（十）探鑛呈請人變更に關する呈文繼承により變更するもの每件銀元二元、繼承外の原因により變更するもの每件銀元二十元（十一）合辦鑛業呈請人脱退に關する呈文、每件銀元二元（十二）鑛質名稱更正に關する呈文、每件銀元四元（十三）鑛業條例第五十條の規定による呈文查詢の呈文每件、銀元二十元（十四）鑛業查

●湖南文學傳 失名氏寄

葉德輝。字煥彬。湘潭人。光緒乙酉科本省鄉試舉人。壬辰科進士。授吏部主事。中國故重科第。而科第尤以翰林吏部爲清要之選。明以文章聲譽聞。蓋朝廷典章銓選所從出。居是官者。率自於其。德輝觀政未一年。拂衣歸隱。其先世自祖以上。本江蘇人。江蘇葉姓爲華族。自宋葉夢得、元葉顥、明葉盛、清葉樹達、葉林宗、葉方謨、葉奕苞、葉燾。皆以藏書著作。名重當時。德輝家雄于財。少庭訓。又多先世遺書。朝夕披讀。遂精考據之學。湖南人士。言漢學最晚者祖謙、周氏。開明性理。近則船山一派。以議論解經。略參古訓。追郡漢助、魏源、曾國藩、周書昌出。與江蘇人士往來。遂變其學。然不盡宗漢師遺集。故爲其學。與諸老不同。同治光緒中。湖南文學士。多游郭嵩燾、王闓運之門。德輝守家學。未嘗一執鞭焉。幼好漢許慎說文。以許所居私淑。又號鹿鹿。取說文闡明之義。願其藏書樓。嘗爲說。以鹿鹿即鹿妻之轉聲。康復樓又通用。其爲書小學如。此。平生著書極富。以說文解字故訓。爲最精博。舟車日錄。必以書目硃相隨。凡所藏官私目錄。大都墨漆錄。古堂書目四卷。折衷漢隋兩志。損益古今。收藏書畫古泉幣。日本人游歷湖南者。皆得見之。所著部圖書畫

上海本埠 上海海上保險株式會社

資本金 三百萬圓

諸積立金 貳百參拾萬圓

店支海上

號九第A路口漢界租英海上

(番六五三一話電)

日本郵船株式會社

東京本社

噸萬二十三數噸總●隻除十八船汽有所

歐洲行	二週一回
米國行	二週一回
香港行	一週一回
日本行	一週二回以上

其他日本各港澳洲印度朝鮮支那等諸航路

日本郵船會社

上海支店長

石井

大北汽船會社代理

大北鐵道會社代理

題記六卷。兼賞察訂二事之長。

景幣之富。則見所著古泉雜誌四卷。

又著清夏百一詩二卷。專論所藏明清

南朝間人字畫折扇。二書均刊入觀古

室全書。近著有藏書十約一卷。游藝

巨旨二卷。自述收藏之甘苦。欲以昭

示來學也。德庫大庫而經史。小而詞曲

無書不購。日本國俗。從之問曲二

年。於南北曲之變遷。聲律雅俗之

分辦。手書口授。語焉必詳。家有梨

園部。承平歌舞。日本遊客恒得飲聞

鄂後。不免有子弟散如煙之恨矣。

所著刻書。日觀古堂所著書。觀古堂

集刻書。麗藏叢書。雙峰影齋叢書。

又撰宋趙思遠遺事。爲趙思遠別錄八

卷。輯思遠奏議四卷。其他刻則未在

叢書內者尤夥。湖南語人望。必曰王

葉。王君湘澤之閩連。長沙之先聲。

葉即德庫也。德庫少科第。早負盛

名。今年僅五十一。諒然如老宿云。

漢字新聞論調

●畫師政策(市報) 我國が力を竭して經

營する事は其結果が如何と云ふ事と成らざる

所謂畫師政策なり。即ち畫師政策問題の久し

に客入側面を以て成る。整理整理は現

金無量の故なり。軍服整理は主權充實の故な

り。或政主は官界反對の故を以て。實業

界は經濟の出發點の故を以て。政界問題に

疑多の故を以て何れも成らず。其の成

た者に一切の議會の廢止。各省自治の。凡

此の事を發議せし今日も成らず。其の希望

する者は皆其希望の希望なり。故に今日の政治

畫師政策なり。然し畫師政策は。其の

我國に於ては。非らず。其の故は。已に外人の

手に在り。上記せる種種の無爲の

事は皆其財源に因る。而して外國の財源は

多外國に流出するに因る。而して外國の財源は

是れ權利を外人に借與するに因る。而して外國の財源は

是れ權利を外人に借與するに因る。而して外國の財源は

是れ權利を外人に借與するに因る。而して外國の財源は

善を積蓄となし積蓄せしむ

(以上四月十八日)

給三等文虎章

(以上四月十九日)

依願免職遠城將軍

任陸軍少將

加陸軍少將

(以上四月二十一日)

任海軍少將

任陸軍會計審查處長

(以上四月二十二日)

葉雲臣

文華

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

葉雲臣

鐵道景報

奉天都督の

交通より受けたる命令によれば

哈爾濱より受理に至る鐵道は國上

經濟上最も必要に就き技術を派遣し

て測量せしむるに延長一千一百支

那里建築費約二千萬元を要する見込

なるが政府は最初借款に據らんとせ

るも種々の障害に遇つて果さずは全

部國民の報告せる如く九百萬圓は

朱民政長の報告せる如く九百萬圓は

收入の見込なり。此事既報の如し

殘額一千一百萬元は各地の資本家

募集すべし該鐵道は一日も早く敷

設して外國人の觀望を免るべし云々

●佛人の見たる獨乙新鐵道

既報の如く獨乙の新鐵道は高麗順

南鐵道の實地調査委員として濟南領

事務のギンテナル任命せられ支那側

の委員任命せらるるを依て經過點點

を見るべく且つ交通渉及し近く調印發

表を見るべく且つ交通渉及し近く調印發

表を見るべく且つ交通渉及し近く調印發

表を見るべく且つ交通渉及し近く調印發

表を見るべく且つ交通渉及し近く調印發

表を見るべく且つ交通渉及し近く調印發

表を見るべく且つ交通渉及し近く調印發

權あり總辦を派遣す等にして國有買

上借款と稱すれども其實英國人が交

通部の手を通じて浙江鐵道の敷設

を獲得せるものにして既成線の引渡

を受けたる外尙未成線敷設の權利を

繼承せるものなり

●南潯鐵道國有行轍

京電報によれば南潯鐵道會社は交

通部に対し已に國有運動を開始せる

もの。如く交通部は委員を派遣して

調査に着手したる由なり。該鐵道は左

程重要なるに於ては負債山積し工事堅

固ならず到底買收費を得るの道なし

とて買收するを欲せずとの消息あり

●南京鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

南京鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道滬寧鐵道

ルービヒサア

大日本麥酒株式會社釀造



上海三井物產會社

代理店

純牛乳

愛光社

法界呂班路三三

電話貳壹七五番

四川礦山

四月 に石油を産し此頃又破船にも發見されたり或は揮發性強く或は沈凝したる物多しして燃焼力弱き等實用に適せず此頃李某なるもの上海より機械を買入れ探掘を試みるんとて計畫中なりと	十六日長砂參電に據れば衡州の南六十哩の地點に於て米國技師は土人の爲めに鑿掘されたりと思ふに礫山測るるの要め地方人民の反感を買ひ測結果なるべし	米國技師鑿掘する
--	---	-----------------

雲南錫山の兵變 十七 上海に到着せる米國スタンダード石油会社技師シミス、スチュアード兩氏は始め十數名の穿井に技師に對するを以て上陸より穿井に向ひたるが彼等有名なる錫の産地なり

湖南の熱に就ては會て詳細に報道する所あるが、近來行政公署に向ひ探掘願を提出するもの頗る多し、今其許可を得たるものを舉げ、左の如し

(一) 湘潭 龍坑山に炭脈あるを發見し、馬尾炭、日暮炭、石炭、石炭を以て、湖南の旅行を醫治する所あるに同方人の旅行を醫治し居れるを以て、同技師の組織せる調査隊は當分出發を合意せたりと云ふ、浙江の爲め該技師中、浙江省の油礦探見の來る該技師中、茲に五月申に出張せしむべしと云ふを遂に又山東省濰縣商人

周子安は同地に福祿等の石油坑ありて資
 本を集め利權の外溢を防ぐと稱し近
 くに掘坑許可を申請すべしと屢々居
 るが彼等は石油坑の國有に歸せざる
 を知らざるに非らず買収金を目指せる

(三) 寶隆 隆旗山も亦石炭を産し
 礦藏甚だ豊富なり礦商祥雲等發起
 する資本十萬元の四分の一を引受

(四) 臨武 白砂巖の炭山は礦商陳
 泉清の國内に係る

(五) 開採せんとす 見探せんとす

（四）辰路 水平子の礫山（礫質未詳）は礫商楊清滯等の出願に係り礫區の周圍十一萬三千五百六十九尺あり此類試掘許可を得たり

礫質炭の原價と賣價

一

ものなるべしと思はる

礫務監督署の設立 礫務監督署官制の發表せられたるこの前報の如く、第一は農商部は各省民政長並に、第二、第三、第四、各省の礫務監督署に訓令二五四號を發し署長は早速

噸の採掘費約二兩、洗滌費七錢、石署員を率ゐて各區に至り監督署を開
塊(百分の十五)除却費三錢、安源き各種の計畫を立て礦業に關する新
株洲間運賃五錢三分輸出入税三錢株舊案件を整理し其狀況を報告すべし
洲漢口間運賃及雜費二兩三錢礦產利と命令せり

借款彙報

大治セメント借款 債權

有る三菱合資會社の爲めに久しく市場を差押へたる大冶湖北セメント工場は天津の佛國招商銀行より百萬元の借款を得て、昨年十二月一日佛國商業會議所聯合會の決議によつて餘分の資本は先づそのを國內留めて國家の用に供すべしとあり

實業借款自由の說明は、ヤムス一起て反對論を唱へて中法銀行に既に借款金額の一部を前渡せし二事の結果して然るかつ昨年十二月

西万兩を借財、多少株主間の反對ありたりとも、結局銀行に有利な條件で契約成立し三月廿日頃八十萬圓明したるが支那に對しては如何に元を三萬に支拂ひ其他債務の全額を以て契約に従ひ工場の經營を全權すべきかを質問上より外務大臣は保商銀行に譲渡することになり四

過敏應募せ露國及びセルビヤ借款は該決議を尊重し特に例外なき

なる客辭を以て支拂ふことと頗る變

中野店長は銀行代表者に對し、持控せる
借款して該銀行代表者に對し持控せる
馬を引渡したり同工場の製造力は
八百餘條にして一年の工作日數
と三日と假定する時は二十五日餘
の產を產出する計算なり一樽の原價は
兩七錢四に過ぎずして卸賣價三兩
二兩の利益あり一年の純益五十萬
達すべきを以て株主間には其二割
銀行にマツチンジョングムミツツ
の今尙絶わらずと云ふ（借款條項
として支拂ふは愚なりとて反對す
るを禁止するを以て機宜を得た
政策と思惟せずと聲明し探夫の結
總數三百四十票中外務大臣の聲明
は認めるものと二百零六票の多きに
中法銀行の借款は佛國金融界の所
認する所とあけり該借款一億五千萬
法の半額はかくして四月七日に至
債權發行の運に至りしと已に報
せる所の如し

雜報

●新約法の内容

第五國
監督主義
大借款に應ずる根本條件と
監督の方法を講究中なるが疑に
て監督資金の使途を明確にし効力
確保せるが爲めに唯一の紙幣發行
の行たるべき中央銀行を監督する
の必要ありと主張せる事已に報達せ
るに、此頃北京通信に凡は五國銀
行團は更に其範圍を擴大し大借
成立後の重要關係事項に就て監督
實行を行はんとするを發議し支那政府
銀行行の代表者より成する委員
を組織すべしと主張し又借款の用
政院の起草を俟つて之を國民會議
約法修正案に關する去二十三日
京電報に至れば同案は已に審查會
通過し來月乃至發布すべし其內容
には其十章より成る即(一)國家(二)立憲
人民(三)大總統(四)行政(五)立法
(六)司法(七)參政院(八)憲法制定
の續(十)附則是なり而して立法院
は彈劾權及質問權なしとの噂あり

交際し參考に便せられたき旨申込み
たが岡總長は之を讀し財政部々員
を督勵して明細書の作成に従事せ
めたり左に掲ぐるものは即ち該明細
書の内容なり

各部に分屬すれば
(甲)短期外債

北 四 川 路
オ ー ク ジ ョ ン
ニ ー ヤ ン
新 谷 洋 行
電 話 三 三 七 八

[illegible]

計畫

白耳義公使と孫逸仙の

白耳義駐在支那公使の外
交部に致せる報告によれば孫逸仙は
支那の某黨派に接し包五千金を
合計二千八百八十九萬五千三百三十三元
△短期各部に分屬れる左の如し

△財政部、四千五百萬三千五百六十六元
△陸軍部、三百六十四萬八千四百八十三元
△海軍部、百九十四萬八千二百八十三元
△農商部、七十一萬一千七百三十一元
△內務部、四萬四千六百三十四元
合計四千七百一十七萬五千一百三十六元

週新支那

○定價前金

一月六部大洋銀拾五仙
二月六部大洋銀拾五仙
三月六部大洋銀拾五仙
四月六部大洋銀拾五仙
五月六部大洋銀拾五仙
六月六部大洋銀拾五仙
七月六部大洋銀拾五仙
八月六部大洋銀拾五仙
九月六部大洋銀拾五仙
十月六部大洋銀拾五仙
十一月六部大洋銀拾五仙
十二月六部大洋銀拾五仙

支者の伴侶たるん事に努力せよ」記者の系統的なるは是れ本誌の最も長ずる所」是に因つて東方問題の解決に多少の貢獻する所あれば幸也

○定價前金

支那政府と米米實業團
 北京にては全國商會聯合會が先般上
 海にて議決せるパナマ運河開通紀念
 博覽會見物を兼ね米國に視察に赴く
 の件に基き遊美米團實業團なるもの
 を組織し費用三十萬元を要する由な
 が其内政府より二十萬元の補助を
 爲す筈にて盛んに團員の勧誘をなし
 ありと
 刊
 新支那
 △本紙は九月一日を以て北京に呱々
 の聲を響く△既に中外に聲價を有す
 の週刊新支那の姊妹紙にして△公平
 の見地に起ち不偏不黨を本願とし△公
 日支兩國の親善に對しては言はずも
 を知△進んで亞細亞の警備などん事
 期す△正確なる支那の時事問題は一
 本紙によつて速に知るを得可し△思
 を西域に及ばし意を世局に注ぐ人士
 △諸公清鑒を乞ふ勿れ
 支那北京
 新支那社
 振替東京二八八六番

石家莊 同六五五
同三〇〇 信陽州(土) 前四三
後三〇一 前六五五
同四一〇 同六五五

公 私 人 消 息

日本 一八 三一、一八五
支那 二七 二六、四八九
露國 一一 三〇、五〇
佛國 一一 三〇、五〇
獨逸 四 八、七八八
米國 一 一、七四
那威 一 一、〇二五
丹麥 一 二、五九六
瑞典 一 一六、四一〇
合計 九九 一六六、四一〇

品 質 精 撰

醫 療 用 藥 品

醫 療 用 器 械

醫 療 用 綳 帶 材 料

理 化 學 用 藥 品

工 業 用 藥 品

玻 璃 藥 瓶 各 種

諸 大 家 賣 藥 各 種

美 容 化 粧 品 各 種

廉 價 販 賣

房 藥 大 堂 濟

處 劑 調 方 處 御 醫 大 生 濟

角 路 文 路 德 華 西 海 上

六 五 二 一 話 電

(211)

郵 船 滙 山 在 庫 品

品 名 數 量 前 號 比 較

印度 雙 包 四、七八八 五五九

金 幣 (單 包) 四、七八八 五五九

棉 絲 大 包 二、五九四 一三六

棉 絲 小 包 六、五五九 一三八

金 幣 (雙 包) 四、七八八 五五九

金 幣 (單 包) 四、七八八 五五九

棉 絲 大 包 二、五九四 一三六

棉 絲 小 包 六、五五九 一三八

金 幣 (雙 包) 四、七八八 五五九

金 幣 (單 包) 四、七八八 五五九

棉 絲 大 包 二、五九四 一三六

棉 絲 小 包 六、五五九 一三八

金 幣 (雙 包) 四、七八八 五五九

在 日 本 革 命 黨 留 居 地

北京政府與黃興、李烈鈞、鈕永建、柏文蔚、陳其美、張振鵬等的關係。上海來電云：張振鵬等之關係。上海來電云：張振鵬等之關係。上海來電云：張振鵬等之關係。

米 砲 艦 巴 洛 斯 號 的 進 水

米國於建造上海海防之米砲艦巴洛斯號，現已運到上海。該艦係由美國海軍部建造，現已運到上海。該艦係由美國海軍部建造，現已運到上海。

北 勢 丸 事 件 之 其 後

北勢丸在北勢丸事件發生後，其後之發展。北勢丸在北勢丸事件發生後，其後之發展。北勢丸在北勢丸事件發生後，其後之發展。

李 鼎 新 的 辭 職 沙 汰 止

李鼎新在上海海軍總司令官任上，其辭職之經過。李鼎新在上海海軍總司令官任上，其辭職之經過。李鼎新在上海海軍總司令官任上，其辭職之經過。

實 業 協 會 總 會

實業協會總會之組織及活動。實業協會總會之組織及活動。實業協會總會之組織及活動。

旭 公 司 的 移 轉

旭公司之業務移轉。旭公司之業務移轉。旭公司之業務移轉。

入 港

入港之船舶及貨物。入港之船舶及貨物。入港之船舶及貨物。

出 港

出港之船舶及貨物。出港之船舶及貨物。出港之船舶及貨物。

郵 船 滙 山 在 庫 品

郵船滙山在庫品之數量及價值。郵船滙山在庫品之數量及價值。郵船滙山在庫品之數量及價值。

品 質 精 撰

品質精撰之藥品及器械。品質精撰之藥品及器械。品質精撰之藥品及器械。

醫 療 用 藥 品

醫療用藥品之種類及數量。醫療用藥品之種類及數量。醫療用藥品之種類及數量。

醫 療 用 器 械

醫療用器械之種類及數量。醫療用器械之種類及數量。醫療用器械之種類及數量。

醫 療 用 綳 帶 材 料

醫療用綳帶材料之種類及數量。醫療用綳帶材料之種類及數量。醫療用綳帶材料之種類及數量。

理 化 學 用 藥 品

理化學用藥品之種類及數量。理化學用藥品之種類及數量。理化學用藥品之種類及數量。

工 業 用 藥 品

工業用藥品之種類及數量。工業用藥品之種類及數量。工業用藥品之種類及數量。

玻 璃 藥 瓶 各 種

玻璃藥瓶各種之種類及數量。玻璃藥瓶各種之種類及數量。玻璃藥瓶各種之種類及數量。

諸 大 家 賣 藥 各 種

諸大家賣藥各種之種類及數量。諸大家賣藥各種之種類及數量。諸大家賣藥各種之種類及數量。

美 容 化 粧 品 各 種

美容化粧品各種之種類及數量。美容化粧品各種之種類及數量。美容化粧品各種之種類及數量。

廉 價 販 賣

廉價販賣之藥品及器械。廉價販賣之藥品及器械。廉價販賣之藥品及器械。

房 藥 大 堂 濟

房藥大堂濟之地址及電話。房藥大堂濟之地址及電話。房藥大堂濟之地址及電話。

處 劑 調 方 處 御 醫 大 生 濟

處劑調方處御醫大生濟之地址及電話。處劑調方處御醫大生濟之地址及電話。處劑調方處御醫大生濟之地址及電話。

角 路 文 路 德 華 西 海 上

角路文路德華西海上之地址及電話。角路文路德華西海上之地址及電話。角路文路德華西海上之地址及電話。

六 五 二 一 話 電

六五二一話電之地址及電話。六五二一話電之地址及電話。六五二一話電之地址及電話。

(211)

(211)之地址及電話。(211)之地址及電話。(211)之地址及電話。

電話三〇八三
振替口座福岡七四〇五番

線通交捷最絡聯亞歐

◎急行列車ハ最新式ノ一二等
寢臺車及食堂車ヲ聯結致居候

○大連長春間急行列車

大連發 日、水曜日午後三時二十分 莫斯科行
木曜日 午後三時二十分 聖彼得堡行
長春着 月、金曜日午後七時十分

下リ

○滿鮮直通(釜山長春間)急行列車

釜山發 土、火、水曜日午後九時五十分
安東發 日、水、木曜日午後四時四十分
長春着 月、木、金曜日午後七時十分

上リ

○長春大連間急行列車

長春發 月、木、金曜日午後五時四十五分
大連着 火、金、土曜日午前九時
○滿鮮直通(長春釜山間)急行列車
長春發 月、木、金曜日午後五時四十五分
奉天發 火、金、土曜日午前一時二十五分
釜山着 水、土、日曜日午前六時十分

○大連發、急行列車ハ上海着ノ各航路汽船ニ接續致候

歐亞大連間行
程リヨ
倫敦 聖彼得堡 莫斯科 哈爾濱
敦 里 林 迄 迄 迄 迄
十二日間半 十一日間 十日間 二十四日間

館旅道鐵

ルテホトマヤ

大連、旅順、奉天、長春ニアリ
設備完全 食物精選
大連市外星ヶ浦ニハ海岸はてるアリ

路航海上連大

使用船

神戶丸 九三八七噸
噸噸

兩船共船内無線電信局アリ

大連發木、土曜日正午 上海着土、月曜日午前

上海發月、水曜日午前 大連着水、金曜日午前

上海大連共ニ棧橋繋留

速力 神戶丸九十九海里航海時間三十一時間
神戶丸九十四海里航海時間四十一時間

炭順撫

大連、營口、天津、芝罘、

上海、香港、新嘉坡、彼南其他東洋諸港ニ於テ常

ニ潤澤ナル貯炭ノ準備アリ

(MANSEN)號略報電

(YAMATO)號略報電

社會式株道鐵洲滿南

町樂有區町麴市京東 社支○ 町園公東市連大 社本○

(MANTETSU) 號略報電 (番九一二連大) 金貯替振